

失語症の今

Current topics of aphasia

脳卒中などによる失語症を抱えつつ生きている人の数は全国で約 50 万人と推計されています。失語症に対しては単に回復期の訓練にとどまらず、長期的な、そして社会参加を見据えた対応が必要です。今日、脳画像検査の進歩による失語症の解明、各種治療法の開発、そしてコンピュータ技術や人工知能の進歩など、期待できることも多くなっています。さらに社会参加支援についても重要です。本稿では、失語症に関する最新の状況を各専門家にご解説いただきました。

言語と脳機能 金野竜太氏 505

Wernicke-Geschwind model は、脳領域間のネットワークの重要性を指摘した点において卓越したモデルであるが、近年の研究ではさらに多数の脳の領域が言語処理に関与していることがわかってきた。音声処理に関しては、聴覚的理解に関与する腹側経路と発話機能に関与する背側経路の 2 重経路モデルが有力である。統辞処理に関しては、著者らが、左右の大脳半球や小脳核を含む 14 の脳領域が 3 つの脳内ネットワークを形成していることを明らかにした。ブローカ野とウェルニッケ野は脳内ネットワークのハブとして機能していることが想定される。

失語症に対する治療的介入 立石雅子氏 511

失語症の機能障害への治療的介入には、反復感覚刺激による促通を目指す古典的な刺激—促通法のほかにも、モダリティ間に差のある症例に用いられる遮断除去法、残存機能の代償を目指す機能再編成法、右半球機能を用いる Melodic Intonation Therapy、意味判断課題を中心とする意味セラピーなどがある。日本語話者の語彙障害の解析のため Sophia Analysis of Language in Aphasia (SALA) も開発されており、治療にも結びつくものとして期待されている。さらに、日常のコミュニケーション場面でのスキルに重点をあてた訓練法である Promoting Aphasia's Communicative Effectiveness (PACE) や、代替手段の使用を制限する Constraint-Induced Aphasia Therapy (CIAT) の効果も報告されつつある。

非侵襲的大脳刺激法を用いた失語症治療 羽田拓也氏ら 519

非侵襲的大脳刺激法 (repetitive transcranial magnetic stimulation ; rTMS や transcranial direct current stimulation ; tDCS) を用いた集中的言語訓練による失語症治療は、安全性と効果が多数報告されつつある。rTMS 療法による脳の可塑性と機能的再構成の向上効果は短時間であるため、言語聴覚士による訓練と組み合わせて用いる。健側による過剰な半球間抑制を、低頻度 rTMS により抑制するために、賦活部位を機能的 MRI を用いて同定することが不可欠である。近年は、高頻度 rTMS を治療に用いることおよび、近赤外分光分析法を賦活部位の同定に用いることが研究されている。

ICT を用いた言語訓練と支援 黒岩真吾氏ら …… 525

Information and communication technology (ICT) や人工知能の進歩により、失語症治療およびコミュニケーション支援のあり方は変革期を迎えつつある。すでに音声認識機能をもつ絵カード呼称訓練アプリが無料で使用でき、活用事例では、訓練反復回数の増加、失語症の改善だけでなく、社会参加促進効果もみられた。言語聴覚士は ICT による音声認識の特色 (欠点) を理解して導入することが望ましい。その他、失語症者向けコミュニケーション支援の可能性としては、自動要約技術、動画の利用、語想起支援、バーチャルリアリティ、画像認識や話者認識技術の利用などが注目されている。

失語症のある人々の社会参加 吉野真理子氏 …… 533

失語症は、失語症のある人々 (individual with aphasia, people with aphasia; PWA) の社会参加と健康関連 QOL に重大な影響をおよぼす。当事者研究からは、活動の量よりも質の重要性や、多彩な要望が明らかになってきている。PWA の社会参加のために、社会的関係を確立し維持することに焦点をあてる社会的アプローチが提唱され、北米を中心にプログラムとしても導入されている。わが国においても、障害者総合支援法の見直しに伴う事業として、各都道府県が主体となる PWA のある人々への意思疎通支援のための事業が 2018 年度から開始され、期待されている。

書評	《標準理学療法学・作業療法学・言語聴覚障害学 別巻》義肢装具学 (評者: 半田一登) …… 517
	ロジックで進める リウマチ・膠原病診療 (評: 花岡亮輔) …… 550
お知らせ	看護師・コメディカルのための FIM 講習会 …… 510
	第 18 回兵庫医科大学呼吸リハビリテーションセミナー …… 524
	第 24 回 SST 全国経験交流ワークショップ in 東京 …… 542
	第 48 回日本リハビリテーション工学協会車いす SIG 講習会 in 厚木 …… 563